

とうふねこ座：市川雅子 画

# まちがいさがし クイズ

蒲郡の民話⑨

「小江の人玉合戦」(小江)

## 問題

上下の絵を見くらべて、  
まちがいを8カ所見つけてください。



あなたは何分でわかりましたか？

- ・1分以内 ..... 天才
- ・3分以内 ..... 秀才
- ・5分以内 ..... 普通

### 応募方法

ハガキまたはファクスに、答えと住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を書いて応募してください。なお、当選者のお名前を広報がまごおり8月号に掲載しますので、ご了承ください。

### 送り先

〒443-8601 蒲郡市旭町17番1号  
蒲郡市役所企画広報課「クイズ」係  
FAX66♦1190

### 応募締切

6月17日(水)当日消印有効

### プレゼント

全問正解された方のうち、抽選で5人の方にクオカードをプレゼントします。なお、賞品は8月初旬ごろ郵送します。

### 「小江の人玉合戦」

蒲南小の西門の西は、今では多くの家が建ち並んで跡方もないが、むかし、あの道が開けなかつたころ、西の方へ幅二間余りある藪量が続いており、その藪の中にいくつかの塚が並んでいたそう。土地の古老たちは、これは兜塚(かぶとづか)とか鎧塚(よろいづか)とか首塚だと言っていた。

永禄5年(1562年)、上ノ郷合戦の時に戦死した武者をまとめてここに葬ったとも伝えられている。また、蒲南小の東門を少し出た所にも七ツ塚というのがあって、そこには竹島合戦の戦死者を葬った塚があったと伝えられており、開墾の時に鎧や刀が出てきたそう。

小雨のそぼ降るある日の夕暮のこと。中年の男が所用のため三合へ行こうと思つて、この西門の細い道を通りかかった。すると塚の辺りから提灯の火ほどの人玉がころがり出て、地上三、四尺の所をふわふわと東の方へ飛んでいくのを見て驚いたそう。おやっと思つてよく見ると、今度は東の方からも同じような火の玉が飛んできた。二つの火の玉は原っぱの中ほどで上になり下になり、入り乱れて、まるで戦いをしているようであった。

男はその様子を見て余りの恐ろしさのために腰を抜かし、大地に座つたまま放心したようになってしまった。火の玉の戦いが終わり、しばらくしてから男はやっとの思いで三谷にたどりついた。二つの火の玉のことを男は忘れることができなかつたそう。

これからあと、あの二つの塚は敵同志であつたらうと、町のみんなに話をしたという。

### ◆4月号の答え

4月号クイズまちがいさがし(ぬすまれた観音さま)にたくさんのご応募ありがとうございました。応募総数は51通あり、正解者は47人でした。

その中で抽選を行った結果、幸運な方は次の5人の方です。

#### 当選者(敬称略・50音順)

- 御幸町 飯島康裕
- 形原町 加藤るん
- 金平町 小久保優花
- 三谷町 竹内良
- 水竹町 宮道千絵

おめでとございます。賞品は6月初旬に発送します。

